

午後 1 時 0 0 分 再開

○岡田議長 休憩前に引き続き会議を開き、市政一般に対する質問を続行いたします。

次に、田村議員。

〔田村議員質問席へ〕

○田村議員 会派自由創政、打って出る米子市を目指す田村謙介でございます。令和 7 年 3 月議会、一般質問最終登壇ということで、全力で頑張ってまいりたいと思います。

今回は、用途廃止施設の利活用について、シティプロモーションの推進について・7、そして、米子城跡の復元とにぎわい創出について・18 ということで、3 項目お伺いをしてまいります。当局の明快な御答弁をよろしくお願いいたします。

まず、市公共施設がもう使わないよという状況になる、これ既に保育園であるとか散見されるところであります。現在、そういった施設等の状況、どのようになっているか伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 用途廃止となった施設についてでございますが、直近 10 年でお答えいたしますと、そのうち、利活用に至ったものが、売却として 2 件、売却予定、これは売却中も含まれますけれども、3 件、避難場所など別の用途で利活用しているものが 5 件、地元要望として、今、協議中のものを含まます利活用の案件が 3 件、民間への無償譲渡したものが 2 件ございます。利活用に至っていない施設は、建物除却後、更地となり、小さい土地だったため、処分できていないものが 1 件ございます。そのほかの 2 件は借地だったため、その除却した後、返地しております。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 よく分かりました。この１８件というものをどのようにするかということで、先ほど御答弁いただきましたが、その利活用についての協議、これはどのようなになっておるんでしょうか伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 協議についてのお尋ねでございますが、用途廃止後は、原則として売却するというのが市の基本的な方針でございますが、他の部局による利活用希望や地元などによる利活用の要望などがあれば、協議、検討を進めることとしております。事例といたしましては、保育園跡地について、庁内関係課で検討の上、地元に御相談しながら、他用途で活用した例がございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。それでは、その利活用について、実際の具体例というものはどのようなものがあるのか伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 具体例でございますけれども、平成２９年度末に、米子養護学校、こちらのほうを用途廃止した後に、令和４年度から不登校児の学びの場でございますぶらっとホームとして利活用としている例や、令和３年度末に春日保育園を用途廃止した後、令和４年度から地元のまちづくり協議会で利活用している例がございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。今議会でも話題となっております弓浜地区の義務教育学校新設により不要となる学校、これの利活

用についての本市の方針を伺います。

○岡田議長 佐々木総合政策部長。

○佐々木総合政策部長 利活用方針でございますが、義務教育学校設立に伴いまして閉校となります美保地区の４校につきまして、地域活性化の拠点としての活用を図るため、民間活力を生かした利用方針、これを基本方針といたしてございます。そこで、令和６年の１月９日から５月３１日までの約５か月間、民間事業者の皆様方からの活用アイデア募集を目的といたしましたサウンディング型市場調査を行ったところであります。以上でございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。この民間のサウンディング調査なんですけれども、残念ながら先送りとなってしまいました。実際に提案いただいた内容というのはどういったものがありましたでしょうか伺います。

○岡田議長 佐々木総合政策部長。

○佐々木総合政策部長 この調査におきましては、３事業者から御提案をいただきました。大きく４点ございました。一つは、健康、食事、教育、就労、防災、こういった機能を有した複合施設、また音楽専門学校を主としたにぎわい拠点施設、さらに、障がい者の入居施設を主とした地域福祉の拠点施設、もう一つは、仕事を退職した元気な高齢者の方が快適に暮らすための住居を主とした複合施設、以上４点でございました。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 それで、私、母校が旧日新小学校なんですけれども、校舎は埋蔵文化財センターですか、そういった活用もされておら

れるんですけれども、体育館が、やはり何も手つかずのままであるということで、現在、米子市の歴史資料群がその体育館の中に放置状態にあると。これ以前、岡田議員も指摘をされた記憶がありますが、こういったものについて今後どのようにされていくのか、方針を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 旧日新小学校体育館には、山陰歴史館に収蔵できない民具や鉄道関係の収蔵品を保管しております。今後は、できるだけ早い時期に文化財の収集保管基準を策定しまして、令和9年度に予定しております山陰歴史館の改修に合わせて、収蔵品の整理を行うこととしております。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 山陰歴史館に収蔵できないということで、今回、新たに令和9年度に入れていくというお話あったんですけれども、やはり数を見てますと、相当にあぶれるというのが想像できます。これらのものについては、やはりそこにずっと置いておくのではなく、本市の非常に歴史上重要な、極めて貴重な資料というものも多々ありますので、市民の皆様方に見ていただけるような、そういった施策が必要なんじゃないかと思っております。見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 旧日新小学校体育館に保管しております収蔵品につきましては、現在も山陰歴史館の常設展の展示品の入替えや企画展での展示に活用をしております。議員から御指摘をいただいたことはそのとおりでございます、より

多くの方に見ていただけるよう、今後も展示場所や展示方法などを考えていくことにしております。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ぜひお願いします。あの旧日新小学校というのは高台にありまして、周辺の青木地区とか永江の一部、また福市等の災害時の避難場所として再指定をしていただいたところでもあります。そういったスペースが、そういった歴史、資料群に埋もれてるという状況は早急に解消いただきたいと、これは要望したいと思います。

次に伺います。学校給食センターができました。これによって、各学校での調理というのがなくなったということになりますが、この余剰となった各学校の給食施設、これの現状を伺います。

○岡田議長 長谷川教育委員会事務局長。

○長谷川教育委員会事務局長 センター方式への移行後、余剰となった各学校の給食施設の現状についてでございますけれども、給食センター方式に移行後も、現在もそのままとなっております施設は、五千石小学校と彦名小学校の２校で残っておりまして、面積といたしましては、五千石小学校が約２００平方メートル、彦名小学校が約７０平方メートルでございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。その施設について、今後の活用方針というのは、何か市で持ってらっしゃるのでしょうか伺います。

○岡田議長 長谷川教育委員会事務局長。

○長谷川教育委員会事務局長 当該給食施設の今後の活用方針についてでございますけれども、給食施設は調理という特定の目的

のために整備されました施設でございますことから、現状のままではほかの用途に使用するということは大変難しゅうございます。また、転用のためには多額の整備費用が想定されますことから、五千石小学校の施設については、現時点では具体的な計画を持ち合わせてないところでございます。また、彦名小学校の施設につきましては、現在、倉庫として使用しているところでございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。またしても私の地元、五千石小学校の問題ということになってまいりました。

ここで、ちょっと視点を変えてお聞きしますが、なかよし学級の実施の状況、校内運営、別棟運営等あると思いますが、それについて状況を伺います。

○岡田議長 瀬尻こども総本部長。

○瀬尻こども総本部長 なかよし学級の実施の状況についてでございますが、なかよし学級の運営場所につきましては、既存公共施設の有効活用の観点から、空き教室を活用するなど、校舎内の運営を基本としておりまして、現在、なかよし学級で使用している全23施設のうち、13施設が学校の校舎内、校舎内が活用できない施設は8施設がありまして、学校敷地内の別棟、また2施設が児童館で運営しております。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。では、このなかよし学級の外部団体への委託状況をお伺いします。

○岡田議長 瀬尻こども総本部長。

○瀬尻こども総本部長　なかよし学級の外郭団体への委託状況についてでございますが、現在は地域住民で組織するNPO法人に運営を委託しております崎津小のなかよし学級のみでございますが、今後、五千石なかよし学級につきましても、地域住民で組織する団体への運営委託を予定しているところでございます。

○岡田議長　田村議員。

○田村議員　それで、今実際に、3年前から地元団体が、そこを委託を受けてスタートをしてると、正式な登録ではないというふうには聞きましたけれども、もう既にスタートしてるんですけれども、やはり要望がいろいろ上がっております。お聞きしますところによりますと、今、校舎の2階で子どもたちを見てるんですが、例えばお迎え、親御さんが来られたときに、先生を残して、もう1人の先生が1階に連れて降りると、もうそれだけでも時間がかかるんですけれども、入り口で親御さんと対面したときに、いろんな相談を受けるんだと、お子さんについてのですね。それとか、いろんな申し送りがあったりすると、やはりすぐ帰れないという状況が発生してて、その間、目が行き届かない状況があるということで、これ、何とかならないのかなというふうなお声を頂戴いたしました。

先ほどお話が出ました利活用の方針がないとおっしゃった旧給食施設、これの活用というものは考えられないのでしょうか伺います。

○岡田議長　瀬尻こども総本部長。

○瀬尻こども総本部長　旧給食施設の活用についてでございますが、五千石小の旧給食施設につきましては、なかよし学級の運営

に携わる地域住民の方々から、今後の運営場所として活用したいとの要望があったところでございます。

なかよし学級の運営場所につきましては、先ほども述べましたとおり、既存公共施設の有効活用の観点から、空き教室を活用するなど、校舎内での運営を基本としておりまして、五千石小学校につきましても、ほかのなかよし学級と比較いたしまして、運営上、特段の支障があるとは言えないことから、今後も引き続き、校舎内での運営を続けていきたいと考えております。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 既存公共施設の有効活用の観点からとおっしゃいましたけれども、やはり何でしょうか、できない理由というのがすごく薄いなというふうに思うんです。改修したりとか、いろんなことでちょっと考えればできそうなものなのだというふうに私は考えるのですけれども、できない理由、もう一度伺います。

○岡田議長 瀬尻こども総本部長。

○瀬尻こども総本部長 活用できない理由についてでございますが、先ほども述べました理由のほかに、旧給食施設は調理という特定の目的のために整備されました施設でございまして、その転用のためには多額の整備費用が想定されますことなどが上げられます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かります。私も見させていただきました。校長先生にお願いして、実際になかよし学級運営されている先生方と見させていただいたんですけれども、中には、使っておった調理器具とか、大きい窯とか、まだ残置しておりまして、このままじゃ、

ちょっと無理かなというふうに思うんですけれども、やはりそういったものは転売もできるし、どんどん出せるんじゃないかというお話がございました。また、それを長年ずっと放置しておく、転売もできない、次の利活用もできない、朽ちてしまうということを考えますと、やはり早期にそういったことはしてもいいんじゃないかなというふうに考えております。

また、この団体さんなんですけれども、自分たちで、もうけのために自発的に始められたということではなく、3年前に、米子市のほうから地域でやってもらえないかというふうな依頼を受けて結成されてるという経緯からして、やはりそういった民間団体の意向というものはしっかり酌んでいただきたいというふうに、私は地域の代表として申し上げたいのですけれども、このなかよし学級の運営について、給食施設の活用ができるような検討というのはできないんでしょうか、再度お伺いします。

○岡田議長 瀬尻こども総本部長。

○瀬尻こども総本部長 活用の検討についてでございますが、校舎内で運営していくことは基本といたしますが、子育て施策の一翼を担っていただいている地域住民の方々の御意向は重要で、尊重すべきものであることを鑑みまして、多額の整備費用をかけず、児童の送迎等に対応しやすい運営ができるような方策がないかなど、委託予定先の方々と一緒になり、検討していきたいと考えております。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ありがとうございます。ぜひそういった団体さんにしっかり寄り添っていただきたいというふうに思いますし、やは

りお子さんも、例えば1階だったら、裏口を開ければ、そこに車で来てもらって、親御さんに引き渡せるといったこともできるんだというふうにおっしゃっておられました。また、多額の費用というお話もありましたが、様々、手出し分はどちらが持分がというお話あると思いますけれども、いろいろ工夫していただいて、しっかりとお話をしていただきたい、これは要望しておきたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願いをいたします。

続きまして、大要2項目め、シティプロモーションの推進について・7ということで、これをお伺いしたいと思います。

まず最初に、市広報の基本的な考え方についてお伺いします。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 基本的な考え方についてでございますが、様々な媒体を活用し、本市の魅力や資源を市内外に効果的に発信することによりまして、認知度や地元への愛着を向上させるとともに、来訪者の増加やふるさと納税などの行動につなげることを目指して取り組んでいるところでございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。以前、私、この議場で、米子市独自の観光大使制度がないということについて指摘をさせていただき、市長から同意をいただいたということで、令和6年6月に市の観光広報大使制度というのができました。これについての現状、どのようなになっているのかを伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 議員御紹介いただきましたとおり、令和6年6月に、米子市観光協会の米子ふるさと観光大使制度と統合し、新

たに創設いたしました米子市ふるさとPR大使については、現在、41名の方に就任していただいております。各方面で本市のPR活動を行っていただいているところでございます。令和6年12月には新制度を創設後、第1号として、俳優の山本舞香さんに就任していただいたところでございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。山本舞香さん、非常に有名な方ですし、人選としては間違いなかったんだなというふうに、私も歓迎したいと思います。

それで、委嘱、先ほど41名というお話がありましたけれども、以前もこの議場で指摘をさせていただきました、1回委嘱をした方が継続的にそれぞれの持ち場というんですかね、その活動されてらっしゃる場で、この米子市をしっかりと広報していただけるのかなということについては、例えば就任式の際に、委嘱状と名刺100枚お渡しして、写真撮って、おしまいというようなことが多いんですけれども、これ、継続的にやはり本市をPRして、シティプロモーションの観点から継続的なPR活動をしていただくということを考えますと、委嘱以降の活動についても、しっかりと継続的なタッチが必要なんだということを以前指摘をさせていただきました。それについての見解を伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 継続的なタッチ、接触ということでございますけれども、大使の方々へは、定期的な市政情報などの提供のほか、例年1月に東京で開催いたします交流会にお招きをし、直接市の取組の説明や意見交換を実施しているところでございます。今後

も、大使とは定期的にコミュニケーションを図り、本市のPR活動に御尽力いただきたいと考えておるところでございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。継続的なタッチ、これは非常に大事だと思います。ぜひよろしく願いをしたいと思います。

次、シティプロモーションの中の鉄道のまち米子についてをお伺いします。私は、もう自他ともに認めるといいましょうか、鉄道オタクでございます。鉄道オタク歴45年やっております、今はないんですけれども、山陰鉄道研究会という祖田さんという方がやってらっしゃった団体にも、私、所属をしとったということでありまして、鉄道については特にこだわりが強いということでございます。本市は何度も取り上げさせていただきましたが、名実ともに鉄道のまち米子であります、このシティプロモーションにおいて、やはり私もずっと以前から考えますに、それを推してる雰囲気というんですかね、あまり伝わってこない。他市の人にも、それ、刺さってないんじゃないかなというふうに考えておりまして、平成28年の3月から、何度も何度も鉄道のまち米子というテーマで、例えばシンボリックなものとして、SLの、湊山公園に放置状態、僕が見たときはですよ、廃れておってということで指摘をしたこともあります。その後、塗りましたという御答弁も頂戴しておるんですけれども、あと、せっかく残ってる、扇形車庫、転車台、あそこの中に収納したらどうでしょうかとか、駅の南側にああいった留置線、そこにSLを移動したらどうかとか、いろいろ御提案してまいりました。

これはですね、令和2年3月には門脇議員も同様に、駅構内等、

周辺への移設というものを提案され、また令和４年７月議会でも、中田議員が同様の提案をされてると。昨年１２月議会で、中田議員の質問に対して、だんだん広場への移設をするということで、非常に私も喜びましたし、さすが鉄道会社のＯＢの方がいると違うなというふうに私も感動したわけですが、非常にありがたかったというふうに思っております。

しかしながら、先ほどから言ってますように、鉄道のまち米子というものについて、ＰＲはどこが所管をして、どこが何をやっているんだということが全く伝わってきてない現状がございます。それについてのＰＲの実施状況を伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 ＰＲについてのお尋ねでございますが、その所管につきましては、内容ごとに個別に判断し、関係課と連携を取りながら実施しているところでございます。実施状況につきましては、広報よなごの、これは令和３年１月号におきましては、米子駅のリニューアルやがいなロードの完成に向けた周知、機運醸成を目的に、鉄道のまち米子と題しまして、特集の記事を掲載したところでございます。また、山陰歴史館におきまして、鉄道の常設展示と鉄道の街「米子の鉄市」実行委員会によるＮゲージの展示運転や操作体験を実施しております。さらに、ＪＲと連携いたしまして、観光列車、銀河のおもてなしなどへの参加による観光ＰＲ、山陰の歴史をめぐるパンフレット作成など、鉄道を通した本市への誘客を図っているところでございます。また、３月２０日には、全国の鉄道のまちの連携イベントが埼玉県の大宮駅で開催される予定でございますが、そこにＪＲ西日本山陰支社とと

もに出展を計画しており、本市の魅力を発信することとしておるところでございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。ぜひもうちょっと顕在化して、もっともっとアピールが必要なんじゃないかなというふうに思いますし、先ほどの御答弁ではおっしゃられませんでした。PRの所管については決まった所管がないというふうに回答をいただいております。これは、やはりシティプロモーションの観点からいえば、例えば秘書広報でも観光課でもいいので、しっかりと決めて、そこが腰を据えてしっかりとやっていく、これが必要なんじゃないかということを目指したいと思います。

続きまして、これも以前から言っておりましたシンボリックな米子の鉄道遺産ということで、旧特急やくも号381系、これが保存展示について、何度も何度もこの場でお願いをしておりました。令和2年12月議会においては、鉄道資料として観光資源となり得る可能性があるとの御答弁を頂戴しておりましたが、その車両もどんどん廃棄され、今では残り1編成のみとなってしまいました。これについて、やはり今が保存活用を訴えかける最後のチャンスなんじゃないかなというふうに考えますが、本市の見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 こちらにつきましては、令和6年6月にも答弁いたしておりますが、やくも381系の保存展示につきましては、JR西日本本社車両部におきまして、アスベストが混入されてる車両であるため譲渡ができないとの整理をいただいております。

ます。これは、直近の確認でも方針は変わっておりません。これまでもＪＲ西日本とは、鳥取の「鳥鐵旅ノススメ」でありますとか、サイコロきっぷなどの周遊企画への参画など連携をしております。引き続き連携を図りながら、鉄道を活用した観光振興に努めてまいりたいと考えてございます。以上です。

○岡田議長　田村議員。

○田村議員　これ、ちょっと残念なんですね。ＪＲさんおっしゃったということは分かるんですし、聞かれたということは感謝申し上げますと思うんですけれども、やはり鉄道博物館等行きますと、同様の３８１系というのは展示されてるわけであります。米子の３８１系だけが問題があるというふうに、今の答弁では受け取れるんですが、やはりそういった処理をすれば展示できるということでございますので、これについては私も最後まであらがいたいなと思っております。引き続きぜひ御検討いただきたい、これは切に要望したいと思います。

次ですけれども、先ほど、冒頭述べましたＳＬのだんだん広場の移設ということにつきまして、私は当初、そのさびついているということと、あと、湊山公園の遊んでる子どもはもちろん、子育て世代もその車体に郷愁を感じないということで、やはりあるべきところというのは鉄道のまち米子とした、米子駅の周辺、もう私は、扇形車庫いう主張をずっとしておりました。また、裏側とか、南口という主張をしておりましたけれども、駅前ということで、だんだん広場、これは感謝してますし、非常によかったと思うんですけれども。やはり鉄道のまち米子ということを考えますと、その置く場所なんですけれども、以前は、今みたいな駅ロ

一タリーがある前は、この新駅舎の左横に旧駅舎があるんですけど、その真横にS Lって置いてあったんですね、長年、四十数年前ですけれども、私、その記憶がすごくあるんですけど。やはり駅前にあるということが、シンボリックなものとしてのある場所だというふうに考えております。これについて、駅正面、山陰鉄道発祥の地のモニュメントがあるんですが、あの辺りに置けないものか、また、検討いただけないかということについての見解を伺います。

○岡田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 S Lの米子駅周辺への移設は、米子駅を訪れた方が、さらに鉄道のまち米子を感じてもらうとともに、駅周辺の魅力向上を図ることを目的としております。米子駅により近い駅正面へのエリア、シャミネ米子のセブーンイレブンのある前辺りなんですけども、そこはスペースが限られておりまして、幅約3メートル、長さ20メートルのS Lを移設いたしますと、滞留空間としてのスペースが大きく制限されることが予想されるところでございます。

一方、だんだん広場には十分なスペースがございまして、配置等の自由度も高く、また移設後においても、広場内のイベント等への利活用の影響は少ないため、だんだん広場へ移設することといたしましたものでございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かります。今の現状からいえば、大きいものを置くというのはやはり無理があるなというのは私は分かるんですが、シャミネ前の広場の山陰鉄道発祥の地のモニュメントの裏側、要

は後ろに植栽があります、緑のエリアが。そこ、かなりの広さでして、あそこをならして、あそこだったら置けるし、前を通る車からもよく見えるということになりますし、双方からいいんじゃないか、またその広場のスペースも確保できるということになりますので、これについては、引き続き、山陰発祥の地のモニュメントと並べて置くというようなことを再考いただければというふうに思いますし、これは強く要望したいと思います。せっかく置くのですから、やはり正面、人の動線外に置くのではなく、動線の上にあるというのが本来だと思いますし、新橋駅なんかも、みんな目の前のS LがS L広場ということで待ち合わせ場所になったりということを考えると、待ち合わせ場所がだんだん広場というのはちょっと考えにくいのかなというふうに考えます。そこは一つ御検討いただきたいと、これは要望したいと思います。

次です。以前、この議会で、法勝寺電車の100周年というものを、南部町が一生懸命やってらっしゃるということを御紹介しました。そして、1年後の今年ですね、米子市電、これ米子駅からずっと中国電力のどこ曲がって、皆生まで行ってたという市電があったんですね。また下町のほうもずっと回ってたという路線もあったようですが、これが開業100年ということでもあります。しかしながら、この提案してきた機を捉まえてと、以前から指摘してまいりましたが、これについての予算措置がちょっと見受けられなかったんですね。これについて、結局何もしないのかなというふうに考えてますが、実際どのように考えておられるのかを伺います。

○岡田議長 佐々木総合政策部長。

○佐々木総合政策部長　まず、米子市電でございますが、今年が開通１００周年の年でございます。以前も御提案をいただきました。私ども、鉄道のまち米子の歴史においても記念すべきものであると認識をしてございます。今議会にも当初予算、提出をしてございますが、いろいろな事業を提案してございますが、その中で、よなご公共交通フェスタという事業も提案をしてございます。可能であればそういった場を通じて発信などを検討してまいりたいというふうに考えてございます。

また、法勝寺電車のことも触れていただきました。以前、担当局長から御説明したとおり、昨年が１００年でありまして、南部町と一緒に取り組んだ経過がございます。今後につきましては、今、元町パティオ広場の法勝寺電車、今年度屋根を整備したわけでございますが、今後につきましては、車両の修繕も検討していきたいというふうに考えてございます。本市の鉄道資源として今後とも有効に活用してまいりたいと考えてございます。以上です。

○岡田議長　田村議員。

○田村議員　分かりました。車両の修繕等も入れるということでありましたけれども、これについては１００年記念事業というふうにうたったほうがいいと思います。そうやって市民の方にも分かりやすく、そういう歴史があったんだということをぜひ周知いただけるような御努力をいただきたいというふうに要望したいと思います。

続きまして、とっとりふるさと大使特別展示についてお伺いをいたします。以前から私自身が日向坂４６というグループのファンであると、「おひさま」というんですけれども、であるという

こともございますし、当初はこれ、実は門協議員から教えていただいたんですけれども、地元でこんな子が出るよということで私もびっくりしたわけでありまして。お調べすると非常に活躍をされておるし、ぜひこれは応援していきたいということで、令和4年12月議会以降、度々紹介、提案をさせていただきました。やっと実は今日が最終日ということになりますが、このとっとりふるさと大使の特別展示、これどういうものだったのか総括を伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 特別展示につきましては、鳥取県出身でとっとりふるさと大使である日向坂46のメンバー、山口陽世さんと平尾帆夏さんのお二人のグッズなどを全国のファンの方からお借りをして、ファンの皆様の御協力の下、2月3日から本日まで展示をすることとしたものでございます。この展示に係ります市の公式Xの合計表示回数は約60万回、ポストのクリック、リポスト、返信、フォロー、いいねなどの合計は3万回近くあったほか、関連する多くの投稿や反応がございまして、本市のことを全国の多くの方に認知していただくきっかけとなったものと考えております。ネット上のコメントや来訪者からは、展示に対する感謝や市役所でこの規模感で展示してくれるのはすごい、新たな観光地になりそうなどの声をいただき、大変好評であったと考えているところでございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 よかったですね、やって。展示については、もうこれ田村議員、お任せしますというふうに言われて、私もえっと思

ったんですけれども、いろいろやらせていただきました。特にお支えいただいた秘書広報課の皆様には大変感謝をしておるところでございます。ありがとうございました。

これ、私かねがね言ってるマネタイズについてちょっと考えた場合に、実際に今回の特別展示による経済効果っていうのはどれぐらい市としては考えていらっしゃるのか伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 経済効果についてでございますけど、なかなかハかるのは難しいところではございますけれども、関東、関西など、遠方から多くの来場をいただいております、芳名帳に記載された来訪者、77名の方のお名前がございます。その77名の方のを集計しただけでも、数百万円ぐらいの経済効果はあったものと考えているところでございます。ただ、そのほか芳名帳に記入のなかった方、こういった方も多くいらっしゃいますので、さらに多くの経済効果があったものと考えておるところでございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。では、この費用対効果についてはどのように考えておられますか伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 全国に多くのファンがおられる人気アイドルの応援展示という特性上、従来の情報発信と単純に比較することはできませんが、従来と比べて少ない費用で大きな効果が得られたものと考えております。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。この展示につきましては、私もパソコン一式だったりLEDライト、バッテリー、バック、ペンライト、ファンクラブ会員証など、私の個人のものをらせていただいたり、あと山陰をはじめ、全国の「おひさま」から多くのグッズが寄せられました。1月30日に第一弾の展示をして、2月19日には山口さんの生誕祭仕様に模様替えをするということで、非常に多くのものが集まったということで、複数回来庁される県外、遠方の方もいらっしゃったということでございます。この展示に際しては、私自身、任されちゃったので、運営会社であるSeed & Flower 合同会社、また県政策戦略本部広報課様、また日南町まち未来創造課様をはじめ、全国の「おひさま」や多数のグッズを提供していただいた皆様方と一緒に取り組んだということで、実はあしたの撤収作業にも来ていただくということで、非常にありがたい状況がでございます。これについて、先ほど非常に大きな経済効果があったというふうに本市考えるのであれば、当然感謝の言葉というのはあっていいんじゃないかと考えますが、見解を伺います。

○岡田議長 伊木市長。

○伊木市長 まずもって、このたびの展示につきましては、多数のお客様、ファンの皆様にこの米子の地、そしてこの米子市役所にお越しくださいましたこと、心から感謝を申し上げます。そして展示に当たりましては、田村議員をはじめ、また鳥取、島根、そして全国の日向坂46のファンの皆様であります「おひさま」の皆様に御協力をいただきましたこと、さらに大使制度の所管であります鳥取県、それから関係機関の御協力の下に応援展示を開

催できましたことに、心から感謝を申し上げます。そして、本日、展示終了後ですけれども、本市のSNSにおきまして、御協力をいただきましたファンの皆様と、そしてSNSの投稿に関心を持っていたいただいた全国の「おひさま」の皆様に向けたお礼の投稿をして感謝の意を伝えたいと考えております。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ありがとうございます。市長から力強い感謝の言葉がございました。全国の「おひさま」の皆さんも喜んでおられると思います。

この今回の展示に際して、一つちょっと残念だなと思うことがございました。秘書広報課さんせっかくやっていただいて、だったんですが、市のホームページ上で観光課とか観光協会がこれの告知をされてなかったんですね。やはり人に来てもらうという思いは一緒なんですけれども、そういうものがなかったということについての見解を伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 このたびのプロモーションについてでもそうですけれども、本市へ誘導する施策を実施する際には、これまでも担当の秘書広報課とそれぞれ観光部局が必要に応じて連携を図ってきたところではございますけれども、今後とも一層連携を密にして効果的な施策となるように努めてまいりたいと考えております。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 よろしく申し上げます。私自身せっかくいいコンテンツがあったのにという思いがしております。

今回、非常にいいトライアルの企画としては、既存のショーケースを移動させて中身を見せるものにしたということで、非常に成功事例じゃないかというふうに私は考えておりますが、現在、玄関の正面横にある横長のショーケースについて目を転じますと、もうやはり色あせたりとか空間が非常にもったいなく使われてるというような状況が見られます。これについてはリニューアルしたほうがいいんじゃないかと考えますが、見解を伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 議員さん御紹介いただきました先ほどのショーケースについてでございますけれども、あのショーケースには一般社団法人中海ふるさと物産振興会、いわゆる米子ええもん会の地元の銘菓など、地域産品の展示、また地酒やガイナール関連のグッズなどを展示しているところでございます。展示品の中には言われますとおり色あせているものもあることから、地域産品などのより効果的なPRとなるように、展示内容について関係団体などと協議をしてまいりたいと考えております。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 よろしく願いをいたします。先ほども言いましたが、このショーケースの利活用についてはよい成功事例ができたと考えますし、今回の大型の、今まで姉妹都市交流のものが飾られてたあれなんですけど、あのショーケースについてなんですけども、今後も冒頭言われた本市PR大使の紹介であるとか、鉄道のまち米子などの広報、JRさんなどから譲渡されたこういうヘッドマークとか、私もHOゲージ何両も、45年前の米子駅、走ったものを全て持っておりますんで、そういったものを並べ

たりとか、いろんな見せ方があるなというふうに感じております。そういったものに今後そういった活用というのはできないものか、見解を伺います。

○岡田議長 下関総務部長。

○下関総務部長 正面玄関の横長のショーケースについてでございます。もちろん協議をする必要はあるとは思っておりますが、議員が言われるような活用方法もその一つだというふうに考えております。展示の内容や時期、状況に応じて本市のPRにつながるように有効に活用してまいりたいと考えております。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ぜひお願いをいたします。市民の方、私も声聞くと、ああ、いいねというふうに言われました。また、後ろ壁の間に幕を張って、手前にあるものがよく見えたよということでお褒めの言葉も頂戴しておりますので、お伝えしたいと思います。

今回、実施していただいたこの展示、特別展示について、市民の浸透は幾ばくかは図られたというふうに感じますし、全国の反応というのも実際見ていただけたと思います。これをもって例えば今年のがいな祭にこのお二人を中心としたメンバー等を招聘するという事を考えられないか。ぜひこれを要望したいと思いますが、見解を伺います。

○岡田議長 若林経済部長。

○若林経済部長 がいな祭への御提案でございます。米子がいな祭の企画内容につきましては、米子がいな祭振興会の実行委員会の中にあります企画実行本部が企画いたしまして、実行委員会の承認を得て実施しているところでございます。いただきました意

見につきましては、実行委員会にお伝えしたいと考えております。皆さんに楽しんでいただけるような祭りとなりますよう、実行委員会の中で検討していただくことになるのではないかと考えております。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ありがとうございます。ぜひお願いをしたいと思えます。

今回、米子市の対応として、SNS等で非常に反応がよかったのが、連休中の特別開庁、これについては非常にありがたいということで、遠方からでも行きたいという声が多数あったということで、行政として、話が分かる行政っていうんですかね、ファンの心理をくすぐるということができたというふうに思います。昨年、宮崎県でひなたフェスという大きなイベントがあったんですが、これも行政が挙げて連携を取って実施したということで、非常に大きな経済効果がございました。また、今回の取組を受けて、鳥取県でのフェスとかライブというものの期待の声っていうのは、実は高まっております。私も一「おひさま」として、このイベントがぜひ開催できるようにというふうに願いを込めつつ、次の質問に向かいたいと思います。

最後、米子城跡の復元とにぎわい創出について・18ということでお伺いをいたします。

いつもお聞きしておりますが、現在の進捗状況についてお伺いします。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 今年度は湊山公園側の登城路と三の丸広場

の整備工事を実施してございます。湊山公園側登城路の整備工事につきましては、湊山公園から内膳丸別れまでの未整備区間53メートルの整備を完了し、令和6年12月に供用を開始しております。三の丸広場整備工事におきましては、敷地造成、排水設備の設置などの整備を実施しているところでございます。排水施設工事の工法見直しに不測の日数を要したため、若干工事の遅れが生じている状況です。なお、本件によりまして次年度の三の丸広場の整備工事に影響は生じないものと考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 よく分かりました。新年度の予算案を見させていただきますと、ここから三の丸の排水施設工事の工法見直しという文言が見てとれました。これについて繰越明許ですか、これについての実態どのようなことがあったのか伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 三の丸広場排水施設工事の見直しにつきましては、受注業者が事前に調査をしたところ、既に埋設をされておりますガス管と電力管が支障となり排水施設の施工に影響が生じることが判明したため、設計変更を行ったものでございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。次に、内堀の表出保存についての方針を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 内堀につきましては、発掘調査によりまし

て位置や規模、石垣などが確認されておるところでございます。
整備につきましては、遺構に影響が生じないように配慮した上、
カラー舗装の平面表示、解説板の設置を行い、内堀を境界として
その内部を城郭を実感していただけるよう整備を進めることにし
ております。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ぜひこれもお願いしたいと思います。先般配られま
した広報よなご最新号において、見開き大判の整備後のイメージ
図が添付されておりました。非常に見やすいもので、市民の方も
こうなるんだということで周知が図られたことはよかったという
ふうに思っております。また、内堀からの本丸への眺めというも
のについては、これ文化庁で私も度々訪問した際に言われたのが、
やはり内堀から通して見るダイナミックな全体像がコンパクトで
かつ壮大な米子城の最大の魅力なんだというふうに史跡調査官は
おっしゃっておられましたので、言わば見どころとしての整備、
これが着実に進みますようお願いをしたいと思います。

次、以前、これ御答弁、私も質問でお訴えしたんですけれども、
キャラクターですね。米子城跡、これのキャラクターがないとい
うことについて、ぜひつくりませんかと申し上げたら、つくりま
せんというふうに言われました。これまだ変わってないんだなと
思うんですけれども、民間、例えば下町観光の皆様方の中では、
もうつくらいやと、市がやらんだったらみたいな動きが見てとれ
ます。市の見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 本市が米子城跡の魅力発信に取り組んでい

る中、民間におかれまして米子城跡のPRのためにキャラクターを作成をしていただくことをはじめ、様々な取組をしていただいていることにつきましては、大変感謝をしておりますし、そのお取組についてとてもありがたいものというふうに考えております。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ありがたいんだけれども、私も作品見させていただきましたが、これはもうプロのデザイナーがつくられた非常に素晴らしいものでした。かわいらしいっていいでしょうか。これこのままいくと非公認キャラとなってしまいます。どちらかの町でもそういったキャラクターというのはよくあることかも分かりませんが、やはりそれはしっかりと感謝の意があるのであれば、検討していくということは非常に重要じゃないかなというふうに感じます。この見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 現時点におきまして米子城跡に公式のキャラクターを置くという考えは持っておりません。しかしながら、民間の皆様から大切な御意見を伺いながら、米子城の魅力発信を引き続き努めたいと考えております。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 今御答弁いただいた一つ希望を持つとするならば、現時点でということでお答えをいただいたということで、前向きに私は取りたいなというふうに思います。全国お城EXPOなど、そういったイベントがあるんですけれども、そこにはもうほとんど必ずといっていいほどその町のお城のキャラクター、ゆるキャ

ラ、昨日もそういう話題出てましたけれども、そういったものが
どんどん出てくるんですね。米子城だけがない、つくらないとい
うことをいつまでもあらがったって駄目なんじゃないかな。ぜひ
前向きにこれは作成するということを検討いただきたい、要望し
たいと思います。

これニュースになりましたが、福岡市の福岡城、ここが資料の
解析をしたところ、福岡城天守が存在したんだということを確認
し、市長が発表され、外観復元を目指すという発表がございました。
これ米子市もまねできませんかね。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 福岡市におかれまして、民間の団体から市
に対し、福岡城天守の復元的整備に関する要望書が提出されたこ
とについては、認識、承知しておるところでございます。本市に
おきまして、史跡米子城跡整備基本計画に基づき、他の自治体
での取組事例も参考にしながら米子城跡に適した整備を進めたい
と考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 他市の状況を参考にしてというお話でありますので、
申し上げますと、米子城の中の四重やぐらについては、復元に十
分な資料はあるんですけれども、写真がないという状態でありま
す。しかしながら、復元は可能であると私も考えますし、専門の
方もできるというふうにおっしゃっておられました。鳥取城跡に
ついては、写真1枚から図面を起こし、擬宝珠橋の復元を実施し、
現在、三重やぐらの復元まで検討されておられます。このような
動きを受けて、本市の見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 四重やぐらの復元につきましては、米子城跡の歴史的価値を損なうことがないように、今後の発掘調査や史資料収集の成果を踏まえ、判断することになると考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 史跡米子城跡整備基本計画の中の歴史的建造物の復元整備という項において、四重やぐらは、四重やぐらについては絵図にその位置や形状をうかがい知ることができ、1847年、一連の差図に建物規模や構造が記されている。今後の詳細発掘調査で礎石の位置を確認するとともに、写真等新たな資料の収集に努め、基礎データがそろった段階で復元整備の可能性について検討するというふうに力強くうたっていただいております。これ、市民のもう本当に希望でございます。ぜひともこの15年計画の中で既にもう5年が経過しておりますので、いよいよ発掘調査、そして復元検討というものに入っていただきたいなと思うんですが、この米子城が少しでも顕在化し、観光のシンボルとなるためには、やはりこの復元要件を満たし、また外観復元等含め、四重やぐらの復元の検討を開始すべきだと、もう既に開始すべきだと考えますが、見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 米子城跡の整備につきましては、史跡米子城跡整備基本計画に基づき順次整備を進めておりまして、現在は三の丸の広場の整備に注力しているところでございます。三の丸の整備が完了した後は二の丸整備に着手することとしておりま

す。その後に四重やぐらを含めた本丸の発掘調査を実施することにしておりまして、その調査成果などを踏まえ、本丸の整備方法について判断することになると考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 よろしく申し上げます。平成２８年、私は古写真の発掘をすべきだということで、その後、市広報にバナーが載り、最古の明治６年の写真が出てきたということでございました。これについては、ぜひ継続していただきたいというふうに思いますし、資料の収集はこの発掘調査と並行してしっかり取り組んでいただきたいと思います。

いよいよもう最後３０秒となりますが、もう度々議員からも発言がございしますが、この年度末で御卒業される皆様、本当に今までありがとうございます。また、この議場におられない皆様、市役所職員の皆様にも心から感謝申し上げたいと思います。また、伊木、伊澤、市長、副市長におかれましても、非常にお世話になりました。また、この議場でお会いしたいと思い、力強くこの思いをお伝えし、私の質問を終わりたいと思います。今までありがとうございます。皆様、ありがとうございました。

○岡田議長 以上で市政一般に対する質問は終わりました。